

## 森林環境教育 篠栗町立北勢門小学校 2020年11月25日(水)

北勢門小学校1年生103名を対象に自然への関心を高め創造力を養う目的で、自然素材(木、木の実、花、葉など)を用いたネイチャークラフト(クリスマスツリー)とスライドを使った講和を行いました。

9時30分に児童が集合。挨拶、内容説明、スタッフ紹介、アイスブレイク・体操、注意事項の説明の後クラフト作りを始めました。昨年は104名の児童を9班に分け、11名のスタッフで一人当たり11名~12名の児童を担当しましたが、本年は新型コロナウイルス対策としてスタッフを14名に増やし、児童を12班に分け(1班当たり8~9名)密にならないように配慮しました。さらに班内では児童同士が対面しないように同じ方向を向いて作業をするようにしま



した。又、会場の窓を常時開けて換気にも気をつけました。

テーダ松のまつぼっくりに、いろいろな木の実や花等を飾りつけクリスマスツリーを作るのと斜めに切った枝の断面にサンタクロースを描くのがメインの作業です。最初は戸惑っていた子も要領がわかるにつれ夢中になって取り組んでいました。やり方は実に個性豊かです。あっという間の55分間でしたが、「おもしろかった」という声を聞き安堵しました。手伝っていただいた父兄の方も展示された作品のすばらしさや、材料(花、木の実、葉など)のバラエティーさに感動されていました。家庭で子供の作品を見ながら話題にしてもらえれば自然に親しむきっかけになると思います。



工作後の座学ではスライドを使って「あさがおの芽、どんぐり、まつぼっくり」の話をしました。

新型コロナウイルス対策としてスタッフを増やし、1班当たりの児童の数を減らしましたが、作業の性格上一定の距離を保つのはなかなか難しい状況でした。トラブル等はなく無事終了できました。いつもながら個性豊かな作品にスタッフ一同感激しました。

スタッフ：諸石、大熊、高田、常藤、大森、久保田、轟、後藤、薛、溝口、田川、佐伯、佐藤、藤原(文責：藤原)